

腎臓内科

a. 体制

I. 診療体制

●主任部長：松原 雄

学歴：平成 8 年 京都大学医学部卒

資格等：医学博士、日本内科学会認定医・総合内科専門医・指導医、日本腎臓学会専門医・指導医・評議員、日本透析医学会専門医・指導医、日本アフェレシス学会認定血漿交換療法専門医・評議員、日本アフェレシス学会関西地方会監事、京都大学医学部臨床教授

●副部長：遠藤知美

学歴：平成 13 年 滋賀医科大学医学部卒

資格等：医学博士、日本内科学会認定医・総合内科専門医・指導医、日本腎臓学会専門医・指導医・評議員、日本透析医学会専門医・指導医

●副部長：半田貴也

学歴：平成 24 年 京都大学医学部卒

資格等：医学博士、日本内科学会認定医・総合内科専門医、日本腎臓学会専門医・指導医・評議員、日本透析医学会専門医、

●医員：大植薫

学歴：平成 31 年 京都大学医学部卒

●医員：宮内美帆

学歴：平成 31 年 大阪医科薬科大学医学部卒

●後期研修医：花房藍

学歴：令和 2 年 島根大学医学部卒

●後期研修医：三島奈都美

学歴：令和 2 年 京都府立医科大学卒

●後期研修医：桂健介

学歴：令和 3 年 九州大学医学部卒

●応援医師：武曾恵理

学歴：昭和 51 年 京都府立医科大学医学部卒

資格等：医学博士、日本内科学会認定医・総合内科専門医、日本内科学会近畿支部評議員、日本腎臓学会専門医・指導医・名誉会員、日本透析医学会専門医・指導医、日本循環器学会専門医、日本アフェレシス学会関西地方会評議員、財団法人大阪腎臓バンク評議員、京都華頂大学現代家政学部食物栄養学科教授

●応援医師：塚本達雄（北野病院 健康管理センター長）

学歴：昭和 60 年 神戸大学医学部卒

資格等：医学博士、日本内科学会認定医・総合内科専門医・指導医、日本腎臓学会専門医・指導医・評議員、日本透析医学会専門医・指導医、日本急性血液浄化学会指導者・理事、日本アフェレシス学会認定血漿交換療法専門医・評議員、日本アフェレシス学会関西地方会理事、京都大学医学部臨床教授

●応援因子：西岡敬祐

平成 15 年 金沢医科大学卒

●応援医師：森慶太

平成 18 年 信州大学医学部卒

●応援医師：平木秀輔

学歴：平成 24 年 京都大学医学部卒

資格等：日本内科学会認定医、日本腎臓学会専門医、社会医学系専門医協会社会医学系専門医

●応援医師：高柳俊亮

平成 29 年 関西医科大学卒

●応援医師：東 良亮

平成 19 年 京都大学医学部卒

○看護師：看護部報告参照

○臨床工学技士（臨床工学部血液浄化センター担当）：辻宣樹、祖開裕子、藤井雅基、岡本英将、高廣望、

長濱維樂、深江望、近藤孝則、安本涼、伊藤達也、栗田大樹

○スペシャル医療クラーク：酒井友子

○血液浄化センター事務：大石ふみ

II. 研究人員

客員研究員：鳥越和雄（第二六島クリニック）、平井大輔（京都医療センター）、有安由紀（京都大学）、櫻木実（京都大学）、横出正隆（京都大学）、垣田浩子（西神戸医療センター）、武曾恵理（京都華頂大学）

b. 診療実績

I. 腎臓内科

1. 外来診療：延患者数 14,065 名、初診患者総数 862 名、紹介患者数 262 名、新患率 6.1%

1 日平均外来患者数 57.9 名

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
5 診	松原	松原	森	森	遠藤	遠藤	松原	松原	遠藤	
8 診	塚本	三島	平木			大植		宮内	半田	半田

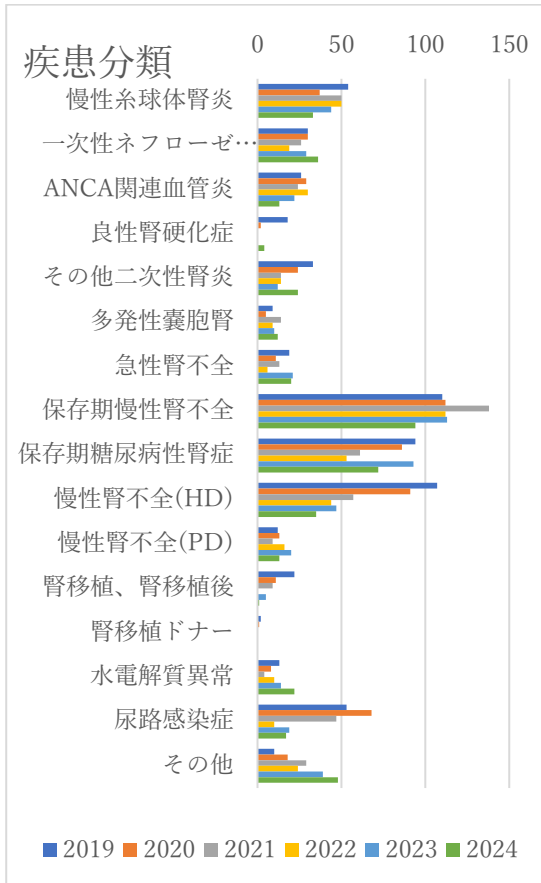
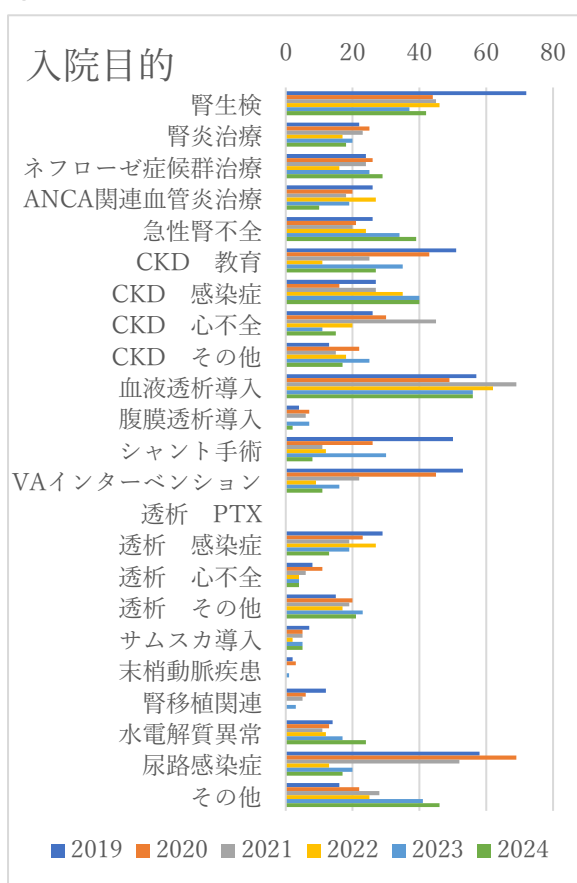
2. 慢性腎臓病地域連携：2009 年 1 月から北野〜かかりつけ医ネットワークで構築された地域連携クリニカルパスを使用し、3〜6 ヶ月毎に連携診療を実施

パスでの受診回数：1312 回、患者実数：523 名、連携医療機関数 385 施設

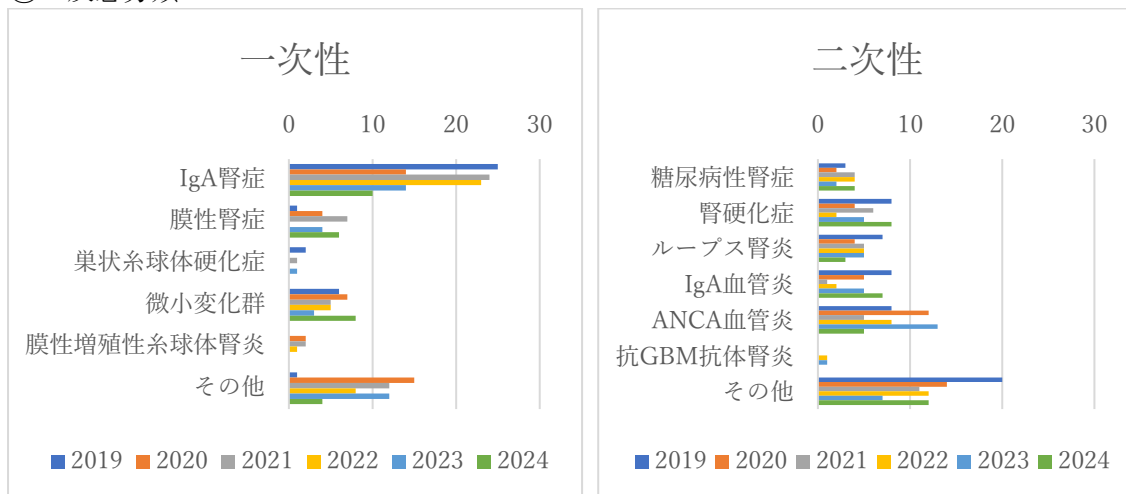
	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024
開始患者数	77	58	38	78	119	51	49	71	79	59	45

3. 入院診療：新入院患者数 452 名、延入院患者数 6,595 名、平均在院日数 13.5 日

① 入院目的



② 疾患分類



③ クリニカルパス

13種類のクリニカルパスを作成・使用

腎生検	シャント手術	リツキシマブ開始・維持
保存期腎不全教育入院	シャント PTA	トルバプタン導入
血液透析導入	ステロイド・パルス	腹膜透析カテーテル留置
腎盂腎炎	シクロフォスファミド・パルス	腹膜透析 PET
CAPD 腹膜炎		

④ 腎生検組織分類

2023年4月～2024年3月；腎生検 72例（一次性 34例、二次性 38例）

⑤ 慢性腎不全教育入院

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
慢性腎不全教育入院	51	43	25	11	35	27

II. 血液浄化センター

1. ベッド数：同時透析数 20名（月、水、金；1クール、火、木、土；1クール）

2. 対象患者：外来透析患者数約 10名、入院透析患者数約 25名

3. 透析導入・看護師外来（腎臓病指導・療法選択/糖尿病・2024年から CKD 透析予防指導）

	2020	2021	2022	2023	2024
透析導入総数	45	77	74	69	56
腹膜透析	3	4	2	5	2
看護師外来	346/55	392/45	374/56	319/30	219/66

4. 体外循環治療の内訳

	HD (2020 年以前 CHDF 含 む)	CHDF	血漿 交換	血液吸着			PBS-CH	CART
				LDL-A	PMx	レオカ ーナ		
2019	10250	-	75	9	0	-	23	31
2020	9100	-	89	5	0	-	34	32

2021	7333	70	96	5	1	－	25	59
2022	4505	35	58	0	0	3	19	11
2023	4661	46	78	9	0	103	42	31
2024	5054	29	60	3	0	51	44	19

5. 出張血液浄化：ICU122 件、HCU58 件、SCU3 件、10 東 7 件（コロナ透析 6 件）、11 東 31 件（コロナ透析 31 件）

6. 腎移植（2020 年度以降は紹介患者数）

	2019	2020	2021	2022	2023	2024
自院で移植	2	0	1	0	0	0
他院で移植（紹介数）	1	0	2	5	*	1

7. 外科手術：腎臓内科に併診のもとで周術期透析を施行。

	2020	2021	2022	2023	2024
副甲状腺					
全摘術	1	1	0	2	0
PEIT	0	0	0	0	0
透析アミロイドーシス					
手根管症候群	7	2	3	1	2
バネ指	0	0	0	0	0
その他の骨関節	8	12	10	5	2
循環器系					
弁置換・CABG・大動脈瘤など	8	9	6	12	9
PTCA・ステント・PCI 等	21	28	19	18	31
消化器系					
外科手術	1	2	4	8	7
内視鏡手術	14	19	16	30	13
インターベンション	13	1	0	0	0
眼科系	11	9	5	11	4
脳神経外科系	5	2	5	4	4
閉塞性動脈硬化症					
外科手術	2	6	13	11	0
インターベンション	28	20	10	18	14
その他の手術	14	18	4	15	7
総数	133	129	95	135	93

8. バスキュラーアクセスの作製・管理

	2020	2021	2022	2023	2024
自己血管吻合	43 7（心外）	21 50（心外） 9（形外）	7 45（心外） 8（形外）	38 11（心外） 3（形外）	37 2（心外） 0（形外）
人工血管（心外手術）	2	2	2	1	0
経皮的血管内治療	58	41	23	46	36
長期留置カテーテルなど	4	4	4	2	3

c. 学会・講演・著作その他の研究活動

【国内学会】

- 1 遠藤知美：腎生検に必要な検査 up to date：第22回日本腎病理協会研究会、2024年4月13日-14日（札幌）
- 2 半田貴也、花房藍、宮内美帆、大植薫、遠藤知美、塚本達雄：レオカーナ施行時のブラジキニンの動向：第69回日本透析医学会学術集会、2024年6月7日-9日（横浜）
- 3 嶋田有紗、福田結以、池谷桃子、大沢一希、東良亮、西岡敬佑、半田貴也、塚本達雄：bacterial translocationに伴う菌血症・紫斑が合併した肝腎症候群Ⅰ型の一例：第69回日本透析医学会学術集会、2024年6月7日-9日（横浜）
- 4 花房藍、近藤麻紀子、市岡光洋、酒井直樹、塚本達雄、古宮俊幸：ペムプロリズマブ使用後に重篤な腎障害を発症し透析導入となった1例：第69回日本透析医学会学術集会、2024年6月7日-9日（横浜）
- 5 鹿野友美夏、半田貴也、池谷桃子、宮崎嘉也、東良亮、塚本達雄：早朝血液浄化療法で救命できたメトホルミン関連乳酸アシドーシスの一例：第69回日本透析医学会学術集会、2024年6月7日-9日（横浜）
- 6 菊地聡太、大植薫、宮内美帆、丹羽篤人、福田結以、花房藍、鹿野友美夏、東良亮、半田貴也、遠藤知美、塚本達雄：成人型大動脈縮窄症を合併する血液透析導入：第69回日本透析医学会学術集会、2024年6月7日-9日（横浜）
- 7 丹羽篤人、半田貴也、松本佳己、小松研一、祖開裕子、辻宣樹、塚本達雄：Blood volume (BV)の経時的観察が安全な単純血漿交換 (PEx) の施行に貢献した Guillain-Barre 症候群 (GBS) の一例：第69回日本透析医学会学術集会、2024年6月7日-9日（横浜）
- 8 福田結以、遠藤知美、斎藤亘、東良亮、半田貴也、塚本達雄：血行再建術施行も治療抵抗性の重症下肢虚血に対し、レオカーナ®を施行し下肢切断を回避できた一例：第69回日本透析医学会学術集会、2024年6月7日-9日（横浜）
- 9 松原 雄、山本伸也、宮澤秋馬、宮里賢和、桑原孝成、澤直樹、杉山 斉、丸山 彰一、向山政志、柳田素子：免疫チェックポイント阻害薬に関連した間質性腎炎の治療における血液透析の役割：第69回日本透析医学会学術集会、2024年6月7日-9日（横浜）
- 10 小阪 健祥、山本 伸也、松原 雄、新井 康之、柳田 素子：Chimeric Antigen Receptor T-cell (CAR-T) 療法に伴う重症 AKI の予測因子の検討：第69回日本透析医学会学術集会、2024年6月7日-9日（横浜）
- 11 玉垣圭一、伊吹英美、塚本達雄、丸山彰一：J-RBR を利用した、わが国の感染関連腎炎の臨床像についての検討：2018-2022年調査（シンポジウム5）：第67回日本腎臓学会学術総会、2024年6月28日-30日（横浜）
- 12 宮内美帆、遠藤知美、飯田貴也、武曾恵理、塚本達雄：IgA 血管炎と IgA 腎症における臨床的及び病理学的相違の比較検討：第67回日本腎臓学会学術総会、2024年6月28日-30日（横浜）
- 13 半田貴也、花房藍、宮内美帆、大植薫、遠藤知美、塚本達雄、武曾恵理：顕微鏡的多発血管炎におけるグリコカリックス構成成分：第67回日本腎臓学会学術総会、2024年6月28日-30日（横浜）
- 14 大植薫、半田貴也、遠藤知美、武曾恵理、塚本達雄：種々の腎疾患の腎機能低下過程における糸球体硬化と間質線維化率の差異：第67回日本腎臓学会学術総会、2024年6月28日-30日（横浜）
- 15 遠藤知美、鹿野友美夏、福田結以、大植薫、丹羽篤人、宮内美帆、東良亮、半田貴也、武曾恵理、塚本達雄：第67回日本腎臓学会学術総会、2024年6月28日-30日（横浜）
- 16 井上唯衣、石井輝、山田博之、杉岡清香、半田貴也、生島昭恵、石村拓也、柳田素子、横井秀基：NPs/GC-A 経路はストレプトゾトシン誘導糖尿病関連腎臓病の高蛋白食負荷による増悪を抑制する：第67回日本腎臓学会学術総会、2024年6月28日-30日（横浜）
- 17 杉岡清香、山本伸也、小阪健祥、斎藤林太郎、小路幹人、谷口智基、日和良介、松原雄、横井秀基、森信暁雄、柳田素子：当院における好酸球性多発血管炎性肉芽腫症（EGPA）の腎病変を含めた臨床像の検討：第67回日本腎臓学会学術総会、2024年6月28日-30日（横浜）

- 1 8 簀本浩之、山本伸也、松原雄、柳田素子：当院における腎生検にて AL アミロイドーシスと診断した症例の臨床学的特徴の検討：第 67 回日本腎臓学会学術総会、2024 年 6 月 28 日-30 日（横浜）
- 1 9 松原雄、山本伸也、宮澤秋馬、宮里賢和、桑原孝成、澤直樹、杉山斉、丸山 彰一、向山政志、柳田素子：J-RBR を用いた免疫チェックポイント阻害薬による急性間質性腎炎の腎生検レジストリー研究（SUBARU-J_ICI-AIN 研究）：第 67 回日本腎臓学会学術総会、2024 年 6 月 28 日-30 日（横浜）
- 2 0 宮澤秋馬、松原雄、山本伸也、宮里賢和、桑原孝成、澤直樹、杉山斉、丸山 彰一、向山政志、柳田素子：J-RBR を用いた免疫チェックポイント阻害薬による糸球体疾患（ICI-GN）の腎生検レジストリー研究（SUBARU-J_ICI-GN 研究）：第 67 回日本腎臓学会学術総会、2024 年 6 月 28 日-30 日（横浜）
- 2 1 小阪健祥、山本伸也、松原雄、新井康之、南口早智子、柳田素子：Chimeric Antigen Receptor T-cell（CAR-T）療法に伴う AKI の臨床病態の解明：第 67 回日本腎臓学会学術総会、2024 年 6 月 28 日-30 日（横浜）
- 2 2 遠藤知美：Fanconi 症候群に関連する腎病変（病理企画 病態の鏡：臨床所見が照らす腎病変）：第 54 回日本腎臓学会西部学術大会、2024 年 10 月 5 日-6 日（姫路）
- 2 3 八幡兼成、古賀健一、平井大輔、瀬田公一、森慶太、東良亮、塚本達雄、石井輝、金子恵一、柳田素子、木下千春、大崎啓介、吉本明弘、畑啓昭、坂根直樹：経皮的腎生検における予防抗菌薬投与についての多施設共同ランダム化比較試験：第 54 回日本腎臓学会西部学術大会、2024 年 10 月 5 日-6 日（姫路）
- 2 4 桂健介、宮内美帆、花房藍、三島奈都美、大植薫、半田貴也、遠藤知美、武曾恵理、松原雄：関節リウマチとして治療されていた高齢男性の SLE・ループス腎炎の一例：第 54 回日本腎臓学会西部学術大会、2024 年 10 月 5 日-6 日（姫路）
- 2 5 嶋田有紗、遠藤知美、福田結以、桂健介、花房藍、三島奈都美、大植薫、宮内美帆、半田貴也、北井悠一朗、武曾恵理、塚本達雄、松原雄：Ifosfamide によると考えられる尿細管障害が不可逆性を呈した一例：第 54 回日本腎臓学会西部学術大会、2024 年 10 月 5 日-6 日（姫路）
- 2 6 三島奈都美、高柳俊亮、森慶太、半田貴也、遠藤知美、塚本達雄、松原雄：多発性嚢胞腎に生じる出血合併嚢胞感染における出血コントロールの重要性：第 54 回日本腎臓学会西部学術大会、2024 年 10 月 5 日-6 日（姫路）
- 2 7 菊地聡太、大植薫、宮内美帆、三島奈都美、花房藍、桂健介、半田貴也、遠藤知美、武曾恵理、塚本達雄、松原雄：原因不明の Fanconi 症候群にて腎生検を行い、退院後に紅麹サプリメント服用歴が判明した一例：第 54 回日本腎臓学会西部学術大会、2024 年 10 月 5 日-6 日（姫路）
- 2 8 勝部友理恵、上田彩、池見泰明、眞貝萌、國津侑貴、今吉菜月、平大樹、小阪健祥、山本伸也、片岡滋貴、金井雅史、津田真弘、中川俊作、松原雄、柳田素子、武藤学、寺田智祐：Gemcitabine による血栓性微小血管障害が Durvalumab 投与後急速に進行した一例：第 54 回日本腎臓学会西部学術大会、2024 年 10 月 5 日-6 日（姫路）
- 2 9 遠藤知美：RPGN を中心とした ANCA 関連血管炎におけるアフエレス（シンポジウム 12）：第 45 回日本アフエレス学会学術大会 2024 年 10 月 12 日～14 日（大阪）
- 3 0 半田 貴也、横井 秀基、石村 拓也、生島 生恵、杉岡 清香、山田 博之、戸田 尚宏、石井 輝、松原 雄：Circulating glyocalyx components, hyaluronic acids and syndecan-1, were useful indicators of peritoneal membrane function and clinical outcomes: a single-center retrospective cohort study:第 30 回日本腹膜透析医学会学術集会・総会、2024 年 11 月 16 日～17 日（福岡）
- 3 1 松原 雄：がん薬物療法時の腎障害診療ガイドライン 2022、シンポジウム 2 Onconeurology におけるクロストーク、日本腎不全外科研究会学術集会、2024 年 7 月 13 日（長野）

【国際学会】

- 3 2 Takeshi Matsubara, Takashige Kuwabara, Shinya Yamamoto, Shuma Miyazawa, Yoshikazu Miyasato, Naoki Sawa, Hitoshi Sugiyama, Shoichi Maruyama, Masashi Mukoyama, and Motoko Yanagita, Interstitial Fibrosis and Tubular Atrophy (IFTA) of Immune

Checkpoint Inhibitor-related tubulo-interstitial Nephritis Associates Mortality and Kidney Prognosis, 61st, ERA Congress, Stockholm, 23-26/5/2024

- 3 3 Takeshi Matsubara, Takashige Kuwabara, Shinya Yamamoto, Shuma Miyazawa, Yoshikazu Miyasato, Naoki Sawa, Hitoshi Sugiyama, Shoichi Maruyama, Masashi Mukoyama, and Motoko Yanagita, Interstitial Fibrosis and Tubular Atrophy (IFTA) of Immune Checkpoint Inhibitor-related tubulo-interstitial Nephritis Associates Mortality and Kidney Prognosis, JSN/ERA Symposium collaboration with JSOT, 14-15/09/2024, Kyoto

【研究会・講演会】

- 3 4 半田 貴也：レオカーナ®施行時のブラジキニン濃度測定：カネカメディックス社内講演、2024年3月6日（大阪、ハイブリッド）
- 3 5 半田 貴也：RAAS 阻害薬服用中の心不全・CKD における高カリウム血症の対応について：Cardio-Renal HK Symposium、2024年4月9日（大阪）
- 3 6 半田 貴也：慢性腎臓病の医療連携における現状について：CKD セミナー、2024年7月26日（大阪、ハイブリッド）
- 3 7 遠藤知美：より良い DKD 診療を目指して：第 10 回 DKD 診療を考える会、2024年9月18日（大阪、ハイブリッド）
- 3 8 遠藤知美：腎病理から考えるタブネオスの可能性：ANCA 関連血管炎 Expert Seminar、2024年10月24日（大阪、ハイブリッド）
- 3 9 遠藤知美：当院における腎代替療法選択患者に対する取り組みとその実践：奈良 CKD WEB セミナー、2024年12月19日（大阪、ハイブリッド）
- 4 0 松原 雄：悪性腫瘍と腎障害～薬剤師への期待、慶應義塾大学薬学部 公開講座、2024年10月26日（土）（東京、WEB 開催）
- 4 1 松原 雄：Onconeurology-腎臓とがんの深いかかわり-、文部科学省次世代のがんプロフェッショナル養成プラン主催 新たな治療法の開発と薬物マネジメント二貢献する 5 大学連携薬剤師養成コース、2024 年度 第 5 回集合研修回、2025 年 1 月 22 日 17:30～19:00（WEB 開催）
- 4 2 半田貴也：令和 6 年度北野カデット年次ワークショップ、2024 年 11 月 6 日（大阪）
- 4 3 桂 健介, 半田 貴也, 花房 藍), 三島 奈都美, 大植 薫, 宮内 美帆, 遠藤 知美, 塚本 達雄, 武曾 恵理, 松原 雄：当院における Late onset lupus nephritis の臨床学的・組織学的特徴、第 11 回京都腎疾患フォーラム 2025 年 1 月 25 日（土）京都
- 4 4 半田 貴也, 辻 宣樹, 岡本 英将, 祖開 裕子, 桂 健介, 三島 奈都美, 大植 薫, 宮内 美帆, 遠藤 知美, 塚本 達雄, 武曾 恵理, 松原 雄：レオカーナ®施行中の経皮酸素分圧と血中ブラジキニン濃度の経時変化を検証した 2 例、第 37 回腎と脂質研究会、2025 年 3 月 29 日（土）香川

【研究課題】

- 1 厚生労働省科学研究費補助金事業・AMED 関連事業・科研費
 - 1-1 厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患政策研究事業）「難治性血管炎に関する調査研究」（研究協力者：遠藤知美、武曾恵理）
 - ・好中球細胞質抗体関連血管炎関連遺伝子に関する研究（RemIT-JA、RemIT-JAV-RPGN、RemIRIT との連携）
 - ・大型血管炎（高安動脈炎と巨細胞性動脈炎）の治療の現状とその有効性と安全性に関する観察研究（塚本達雄、遠藤知美）
 - ・ANCA 関連血管炎（AAV）における腎組織病変とサイトカインプロファイルの相関研究（RemIT-JAV-RPGN 公募二次研究）
 - ・本邦における抗好中球細胞質抗体関連血管炎に対するリツキシマブ療法の安全性と有効性に関するコホート研究（RemIRIT）
 - ・JPVAS 血管炎前向きコホート研究（RADDAR-J）
 - ・血管炎病理診断コンサルテーション事業（武曾恵理）
 - ・AAV の上気道生検組織の病理学的特徴の解明（武曾恵理）

- 1-2 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業『難治性腎障害に関する調査研究』ネフローゼ症候群ワーキンググループ
(研究協力者；塚本達雄)
- ・日本ネフローゼ症候群コホート研究 (JNSCS)
 - ・新規日本ネフローゼ症候群コホート研究 (JNSCS-In 研究)
 - ・Primary MPGN/C3 腎症と補体研究
 - ・膜性腎症に対するリツキシマブ臨床試験 (PRIME)
 - ・指定難病臨床個人調査票のデータベース活用に関する研究
- 1-3 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業『難治性腎障害に関する調査研究』急速進行性糸球体腎炎ワーキンググループ
(研究協力者；塚本達雄、武曾恵理)
- ・JKDR/JRBR を用いた RPGN の臨床病理学的解析
 - ・RPGN の疫学二次調査：全国 RPGN アンケート調査
 - ・指定難病臨床調査票を用いた疫学調査
- 1-4 日本医療研究開発機構 (AMED) 研究
(研究協力者；塚本達雄、遠藤知美)
- ・日本ネフローゼ症候群バイオマーカー研究 (J-MARINE)
- 1-5 厚生労働行政推進調査事業補助金難治性疾患等政策研究事業『指定難病の普及・啓発に向けた包括的研究』
(研究協力者；塚本達雄)
- ・指定難病制度の運用基盤構築 (基盤分科会)
- △ 1-6 基盤研究 (C) 22K08350
免疫チェックポイント阻害薬に関連した腎障害における三次リンパ節の機能解析
(研究代表者 松原雄)
- 1-7 ANCA 関連血管炎の寛解導入においてリツキシマブ併用下でのアバコパン＋短期低用量グルココルチコイドレジメンと低用量グルココルチコイドレジメンを比較する多施設共同、オープンラベル、ランダム化比較、非劣性試験 (ARRIA 試験) (遠藤知美、松原雄、半田貴也、宮内美帆、大植薫)
- 2 共同研究・受託研究
- 2-1 わが国の腎臓病疾患における腎生検データベース構築ならびに腎臓病総合データベース構築に関する研究 (J-RBR、J-CKD-DB)
(塚本達雄、森 慶太、平木秀輔、遠藤知美、武曾恵理)
- ・成人ループス腎炎の予後に関する観察研究 (J-RBR 公募二次研究)
(遠藤知美、武曾恵理、塚本達雄、リウマチ膠原病内科：井村嘉孝)
 - ・日本腎生検レジストリーを利用したわが国における巣状分節性糸球体硬化症の variant の予後についての二次調査
(塚本達雄、遠藤知美)
 - ・抗がん剤腎障害 J-RBR 研究 (塚本達雄、遠藤知美、平木秀輔、森慶太)
- 2-2 ヨーロッパと本邦における IgA 腎症の臨床的特徴の比較調査研究
(塚本達雄、遠藤知美)
- 2-3 抗原特異的測定法による ANCA 検査の評価：小型血管炎における ANCA 検査の 2017 年国際合意の改訂を検証するための多施設共同前向き研究
(塚本達雄、遠藤知美)
- 2-4 遺伝子異常が疑われる腎疾患患者の遺伝子診断・解析、血液学的検査と臨床観察研究
(塚本達雄)
- 2-5 腎臓疾患および体液制御の異常に関わる危険遺伝子および遺伝子変異の同定
(遠藤知美)
- 2-6 透析患者における $\alpha 1$ -microglobulin 除去率が生存・合併症予後に与える影響の検討

- (塚本達雄)
- 2-7 Low-Density Lipoprotein (LDL) アフェレシス療法の重度尿蛋白を伴う糖尿病性腎症に対する多施設臨床試験 (LICENSE-ON 研究)
(塚本達雄、森慶太、遠藤知美、武曾恵理)
- 2-8 京都大学医学部附属病院腎臓内科関連病院腎疾患データベース構築に関する観察研究
(塚本達雄、遠藤知美、森慶太、平木秀輔、武曾恵理)
- 2-9 日本アフェレシスレジストリ
(塚本達雄)
- 2-10 標準化腎生検組織評価法の確立
(塚本達雄)
- 2-11 「HTLV-1 陽性臓器移植レジストリ」を活用した臓器移植における HTLV-1 感染のリスクの解明に関する研究【RADDAR-J[0-3]】
(塚本達雄)
- 2-12 経皮的腎生検における予防抗菌薬投与についてのランダム化比較試験
(塚本達雄、遠藤知美、半田貴也、森慶太)
- 2-13 腎臓病・透析患者における COVID-19 対策の全国調査 および易感染性・重症化因子の後方視的解析
(塚本達雄)
- 2-14 電子カルテデータを用いた、がん薬物療法と腎障害に関する診療実態調査と関連因子および予後に関する研究
(塚本達雄、森慶太)
- 2-15 腹膜透析の患者予後と治療方法についての調査 (PDOPPS phase3)
(遠藤知美、塚本達雄)
- 2-16 腎生検で診断の得られた希少 6 腎疾患の臨床像と病理学的特徴の検討に関する研究
(遠藤知美、武曾恵理)
- 2-17 腹膜透析血液透析併用療法 (PD+HD) における 1 週間の腹膜透析除水量の変化の検討
(塚本達雄、遠藤知美、森慶太)
- 2-18 急性血液浄化法の安全管理に関するアンケート、急性血液浄化法に関するアクシデント報告
(塚本達雄)
- 2-19 GATM 遺伝子変異による家族性腎疾患に関する臨床情報の検討
(塚本達雄、高柳俊亮、森慶太)
- 2-20 腎不全患者の透析非導入および透析中止症例に関する臨床情報の検討
(塚本達雄、遠藤知美)
- 2-21 腎代替療法における共同意思決定の実態調査と規定因子の臨床疫学調査
(塚本達雄、遠藤知美、森慶太)
- 2-22 包括的高度慢性下肢虚血患者に対する LDL アフェレシス療法における血中ブラジキニン・一酸化炭素中毒濃度に関する研究
(半田貴也、松原雄、塚本達雄)
- 3 企業治験 (責任医師、分担医師)
- ・ 原発性 IgA 腎症患者を対象とした、LNP023 の有効性及び安全性を評価する、多施設共同、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間、第 III 相臨床試験およびロールオーバー試験 (ノバルティスファーマ株式会社、ノイエス (株))
(塚本達雄、遠藤知美、平木秀輔、森 慶太)
 - ・ 成人期発症のネフローゼ症候群 (頻回再発型あるいはステロイド依存性) 患者に対する IDEC-C2B8 の有効性及び安全性を確認する臨床第Ⅲ相試験
(医師主導治験、ノイエス (株))

(塚本達雄、遠藤知美、平木秀輔、森 慶太)

- ・ C3 腎症または免疫複合体型膜性増殖性糸球体腎炎の患者を対象とした、PEGCECETACOPLAN の有効性及び安全性を検討する第 III 相、無作為化、プラセボ対照、二重盲検、多施設共同試験 (Apellis Pharmaceuticals 社、ノイエス (株)) (遠藤知美、塚本達雄、森慶太、高柳俊亮、東良亮)
- ・ 免疫グロブリン A 腎症 (IgAN) を有する被験者を対象として Atacicept の有効性及び安全性を評価する第 2b/3 相、複数パート、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照試験 (Vera Therapeutics, Inc.、アイロム株式会社) (遠藤知美、塚本達雄、半田貴也、東良亮)

4 臨床研究

- ・ ANCA 関連血管炎患者の腎生検病理所見における、長期腎予後予測に有用なパラメーター検索と評価法の検討 (遠藤知美)
- ・ 透析患者の乳汁の尿毒素物質解析および母乳哺育の可能性についての研究 (遠藤知美、塚本達雄)
- ・ 透析用カテーテルの機能不全およびカテーテル関連感染症に関する研究 (塚本達雄)
- ・ 血液透析患者への定期的静注鉄補充によるヘモグロビン・サイクリングとエリスロポイエチン反応性に関する研究 (塚本達雄)
- ・ 腎臓疾患および体液制御の異常に関わる危険遺伝子および遺伝子変異の同定 (塚本達雄、遠藤知美)
- ・ 慢性腎臓病地域連携診療におけるアウトカム分析 (塚本達雄)
- ・ IgA 腎症の EPA+Aspirin 療法の有効性 (遠藤知美、塚本達雄)
- ・ IgA 腎症におけるメサングウム C4 沈着意義の検討 (鳥越和雄 武曾恵理、遠藤知美、塚本達雄)
- ・ IgA 腎症に対する肥満の影響について大規模コホートにおける腎機能と性によるサブ解析 (有安由紀、武曾恵理、鳥越和雄、遠藤知美、塚本達雄)
- ・ SGLT2 阻害薬の腎機能の低下した DM 腎症に対する有効性と安全性 (塚本達雄、森慶太)
- ・ VINCENT で測定した多発性嚢胞腎体積の推移・トルバプタン効果・腎不全進行の検証 (塚本達雄)
- ・ 高齢発症 ANCA 関連血管炎患者の寛解導入における免疫抑制剤併用の有効性と安全性 (塚本達雄、遠藤知美)
- ・ CKD 患者における HDL 機能と腎疾患との関連についての観察研究 (武曾恵理)
- ・ ANCA 関連血管炎患者の間質性肺炎合併有無による臨床的意義の研究 (東良亮、遠藤知美)
- ・ 抗 MDA5 抗体陽性皮膚筋炎における血漿交換の有用性についての検討 (渡邊友香、東良亮、高柳俊亮、森慶太、遠藤知美、塚本達雄)
- ・ 透析患者における前誘発性銅欠乏性貧血の検討 (渡邊友香、塚本達雄)
- ・ 透析患者における末梢動脈疾患に対するレオカーナ・アフエレンスの有用性の検討 (半田貴也、塚本達雄、松原雄)
- ・ 慢性腎臓病・血管炎症例の Glycocalyx と臨床的特徴及び予後関連の解析 (半田貴也、松原雄)
- ・ 各腎臓疾患での慢性腎臓病進行に伴う組織学的変化・予後因子について

- (半田貴也、塚本達雄、松原雄、遠藤知美)
- ・Late onset lupus nephritisにおける腎病理・予後に関する検討
(半田貴也、桂健介、松原雄)
- ・日本腎生検レジストリーにおける抗がん剤による腎障害の臨床像に関する検討
(Survey of renal Biopsy database and Anticancer dRUG therapy in Japan : SUBARU-J 研究)
(松原 雄、遠藤知美、半田貴也、塚本達雄)
- ・慢性腎臓病 (CKD) 合併高トリグリセライド (TG) 血症患者を対象としたペマフィブラート投与による腎機能への影響の検証研究
Japan Kidney Association-Pemafibrate Intervention for Chronic Kidney Disease patients Study: JKAPI-CKD study
(塚本達雄、松原雄、遠藤知美、半田貴也、森慶太)
- ・抗 GBM 抗体腎炎における血漿交換の有用性についての検討
(塚本達雄、櫻木実、松原雄、遠藤知美)

【論文】

(原著論文)

- 1 Odler B, ..., Muso E, ..., Kronbichler A. PEXIVAS Investigators. The effects of plasma exchange and glucocorticoids on early kidney function among patients with ANCA-associated vasculitis in the PEXIVAS trial. *Kidney Int.* 2025 Mar;107(3):558-567. doi: 10.1016/j.kint.2024.11.029. (査読有り)
- 2 Torikoshi K, Endo T, Tsukamoto T, ..., Suzuki Y, Muso E. Serum IgA/C3 ratio: a useful marker of disease activity in patients with IgA nephropathy. *Int Urol Nephrol.* 2024 Oct;56(10):3389-3396. (査読有り)
- 3 Ariyasu Y, Torikoshi K, Tsukamoto T, ..., Suzuki Y, Muso E. Correlation between bradykinin concentration and blood pressure during Rheocarna therapy: A single-center case series. Analysis of the impact of obesity on the prognosis of IgA nephropathy according to renal function and sex. *Clin Exp Nephrol.* 2024 Nov;28(11):1155-1167. doi: 10.1007/s10157-024-02519-1. Epub 2024 Jun 4. (査読有り)
- 4 Handa T, ..., Mori KP, Endo T, Tsukamoto T. Correlation between bradykinin concentration and blood pressure during Rheocarna therapy: A single-center case series. *Ther Apher Dial.* 2024 Jun;28(3):453-459. doi: 10.1111/1744-9987.14105. Epub 2024 Jan 3. (査読有り)
- 5 Kataoka S, ..., Matsubara T, ..., Muto M. Proteinuria frequency and subsequent renal dysfunction in bevacizumab-treated patients: a single center, retrospective, observational study. *Int J Clin Oncol.* 2024 Apr;29(4):398-406. doi: 10.1007/s10147-024-02474-7. Epub 2024 Feb 14. (査読有り)
- 6 Kuwabara T, ..., Matsubara T, ..., Tsukamoto T, ..., Yanagita M; JSN Onconeurology working group. SURvey of renal Biopsy registry database and Anticancer dRUG therapy in Japan (SUBARU-J study). *Clin Kidney J.* 2024 Nov 28;17(12): sfae327. doi: 10.1093/ckj/sfae327. (査読有り)
- 7 Masuda T, ..., Matsubara T, ..., Yonezawa A. Low serum concentrations of bevacizumab and nivolumab owing to excessive urinary loss in patients with proteinuria: a case series. *Cancer Chemother Pharmacol.* 2024 Oct;94(4):615-622. doi: 10.1007/s00280-024-04659-3. Epub 2024 Mar 8. (査読有り)
- 8 Nishikawa A, ..., Matsubara T, ..., Terada T. Pharmacokinetics of GS-441524, the active metabolite of remdesivir, in patients receiving continuous renal replacement therapy: A case series. *J Infect Chemother.* 2024 Apr;30(4):348-351. doi: 10.1016/j.jiac.2023.10.015. Epub 2023 Oct 21. (査読有り)

- 9 Oue H, ..., Matsubara T, ..., Takita J. Efficacy of steroid therapy for improving native liver survival after pediatric acute liver failure with immune activation. *Hepatol Res*. 2024 Aug 21. doi: 10.1111/hepr.14107. Epub ahead of print. (査読有り)
- 1 0 Sakuragi M, ..., Matsubara T, ..., Okuno Y. Interpretable machine learning-based individual analysis of acute kidney injury in immune checkpoint inhibitor therapy. *PLoS One*. 2024 Mar 19;19(3): e0298673. doi: 10.1371/journal.pone.0298673. (査読有り)
- 1 1 Yamawaki C, ..., Matsubara T, ..., Terada T. Association between Proton Pump Inhibitors, Immune Checkpoint Inhibitors, and Acute Kidney Injury: A Nested Case-Control Study. *Kidney360*. 2024 Sep 1;5(9):1262-1269. doi: 10.34067/KID.0000000000000528. Epub 2024 Aug 1. (査読有り)
- 1 2 Masuda T, ..., Matsubara T, ..., Yonezawa A. Population pharmacokinetic analysis of bevacizumab in Japanese cancer patients with proteinuria: a prospective cohort study. *Cancer Chemother Pharmacol*. 2025 Mar 21;95(1):46. doi: 10.1007/s00280-025-04769-6. (査読有り)
- 1 3 Nakanishi M, ... Matsubara T, ... Tsuboi N. Frequency of Acute Kidney Injury After the Initiation of Vitamin D Receptor Activators: A Multicenter Retrospective Observational Study. *Clin Drug Investig*. 2025 Apr;45(4):191-199. doi: 10.1007/s40261-025-01429-8. Epub 2025 Mar 13. (査読有り)
- 1 4 Toriu N, ..., Matsubara T, ..., Yanagita M; Onconeurology Consortium in Japan. Cancer diagnosis and prognosis after initiation of hemodialysis: multicenter Japan CANcer and DialYsis (J-CANDY) study. *Clin Kidney J*. 2024 Dec 20;18(2): sfae430. doi: 10.1093/ckj/sfae430.. (査読有り)
- 1 5 Yahata K, ..., Tsukamoto T, ..., Sakane N. Prospective randomized trial of antibiotic prophylaxis for percutaneous renal biopsy. *Clin Exp Nephrol*. 2025 Mar;29(3):269-275. doi: 10.1007/s10157-024-02553-z. Epub 2024 Nov 20. (査読有り)
- 1 6 Ikushima A, ..., Handa T, ..., Yokoi H. Deletion of p38 MAPK in macrophages ameliorates peritoneal fibrosis and inflammation in peritoneal dialysis. *Sci Rep*. Sep11;14(1):21220. 2024, (査読有り)
- 1 7 Kashiwa W, ..., Muso E, ..., Ishizu A. Artificial intelligence challenge of discriminating cutaneous arteritis and polyarteritis nodosa based on hematoxylin-and-eosin images of skin biopsy specimens. *Pathol Res Pract*. 2025 Mar 15; 269:155915. doi: 10.1016/j.prp.2025.155915. Epub ahead of print. (査読有り)
- 1 8 Nishikawa S, ..., Muso E, ..., Toyama T. Prolonged depletion of renal tubular thioredoxin following severe acute kidney injury is associated with transition to chronic kidney disease via G2/M cell cycle arrest. *Biochem Biophys Res Commun*. 2025 Mar 25; 754:151425. doi: 10.1016/j.bbrc.2025.151425. Epub 2025 Feb 3. (査読有り)
- 1 9 Odler B, ..., Kronbichler A; PEXIVAS Investigators (including Kitano Hospital: Eri Muso, Tomomi Endo, Hiroko Kakita, Hiroyuki Suzuki, Takaya Handa, Youngna Kang, Yuki Ariyasu) . The effects of plasma exchange and glucocorticoids on early kidney function among patients with ANCA-associated vasculitis in the PEXIVAS trial. *Kidney Int*. 2025 Mar;107(3):558-567. doi: 10.1016/j.kint.2024.11.029. Epub 2024 Dec 19. (査読有り)
- 2 0 Katsumata Y, ..., Muso E, (39 名省略), ..., Harigai M; Research Committee of Intractable Vasculitis Syndrome and the Research Committee of Intractable Renal Disease of the Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan; Members of the Research Committee of Intractable Vasculitis Syndrome and the Research Committee of Intractable Renal Disease of the Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan: In addition to the authors, the following investigators and institutions participated in this study: Comparison of different ANCA detection methods in a predominantly MPO-ANCA-associated vasculitis cohort. *Immunol Med*. 2025 Mar;48(1):47-57. doi: 10.1080/25785826.2024.2408054. Epub 2024 Oct 11. (査読有り)

- 2 1 Junek ML, ..., Walsh M; PEXIVAS Investigators (including Kitano Hospital: Eri Muso, Tomomi Endo, Hiroko Kakita, Hiroyuki Suzuki, Takaya Handa, Youngna Kang, Yuki Ariyasu) . Risk of Relapse of Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-Associated Vasculitis in a Randomized Controlled Trial of Plasma Exchange and Glucocorticoids. *Arthritis Rheumatol.* 2024 Sep;76(9):1431-1438. doi: 10.1002/art.42843. Epub 2024 Apr 8. (査読有り)
- 2 2 Fussner LA, ..., Walsh M; PEXIVAS Investigators (including Kitano Hospital: Eri Muso, Tomomi Endo, Hiroko Kakita, Hiroyuki Suzuki, Takaya Handa, Youngna Kang, Yuki Ariyasu) . Alveolar Hemorrhage in Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-Associated Vasculitis: Results of an International Randomized Controlled Trial (PEXIVAS). *Am J Respir Crit Care Med.* 2024 May 1;209(9):1141-1151. doi: 10.1164/rccm.202308-14260C. (査読有り)

(総説)

- 1 半田貴也, 塚本達雄: 特集 包括的高度慢性下肢虚血 (CLTI) の寛解を目指して: 日本アフェレシス学会雑誌 44 巻 1 号: Page 43-47, 2025 (査読有り)
- 2 塚本 達雄: 急性血液浄化療法の要点, 医工学治療(1344-1221)36 巻 1 号 Page11-14(2024.03) (査読有り)
- 3 坂井薫, ..., 塚本達雄, ..., 松原雄, ..., 柳田素子: 昏睡型急性肝不全治療における大量血液浄化療法の役割と注意点, 日本急性血液浄化学会雑誌(2185-1085)14 巻 2 号 Page106-111(2023.12) (査読有り)
- 4 松原雄, 柳田素子: Chapter IX-2. オンコネフロロジー (腫瘍腎臓病学), 血液内科治療のトリセツ, 高折晃史 監, 山下浩平 監, 新井康之 編, 中外医学社, 2024 年 10 月 (査読無し)
- 5 Yanagita M, ..., Matsubara T, ..., Kashihara N. Clinical questions and good practice statements of clinical practice guidelines for management of kidney injury during anticancer drug therapy 2022. *Clin Exp Nephrol.* 2024 Feb;28(2):85-122. doi: 10.1007/s10157-023-02415-0. Epub 2023 Oct 25. Erratum in: *Clin Exp Nephrol.* 2024 Feb;28(2):123-124. doi: 10.1007/s10157-023-02436-9. (査読有り)

(症例報告)

- 1 Nagata T, ..., Endo T, Hata A. A case of novel NFKB2 variant with hypertensive emergency and nephrotic syndrome leading to CKD 5D. *Pediatr Nephrol.* 2024 Sep;39(9):2637-2640. (査読有り)
- 2 Shiba H, Endo T, ..., Tsukamoto T. Response: Rectus Sheath Hematoma Can Resemble Bladder Hematoma on Ultrasound. *JMA J.* 2024 Jan 15;7(1):142-143. (査読有り)
- 3 Watanabe T, ..., Tsukamoto T. Effectiveness and safety of plasma exchange for anti-MDA5 antibody-positive clinically amyopathic dermatomyositis with rapidly progressive interstitial lung disease refractory to intensive immune suppression therapy: A case series. *Ther Apher Dial.* 2024 Jun;28(3):432-441. (査読有り)
- 4 Imamaki H, ..., Matsubara T, ..., Ozaki Y. Removal rate of 5-fluorouracil and its metabolites in patients on hemodialysis: a report of two cases of colorectal cancer patients with end-stage renal failure. *Cancer Chemother Pharmacol.* 2024 Feb;93(2):161-167. doi: 10.1007/s00280-023-04577-w. Epub 2023 Aug 22. PMID: 37608127; PMCID: PMC10853355. (査読有り)
- 5 Watanabe T, ..., Tsukamoto T. Copper deficiency anemia due to zinc supplementation in a chronic hemodialysis patient. *CEN Case Rep.* 2024 Dec;13(6):440-444. doi: 10.1007/s13730-024-00862-6. Epub 2024 Mar 23. PMID: 38520630; PMCID: PMC11608200. (査読有り)
- 6 Taniguchi M, Endo T, ..., Tsukamoto T: Nephrotic "full-house" glomerulonephritis successfully treated with antibiotics alone in secondary syphilis: a case report. *CEN Case Rep.* 2024 Apr;13(2):86-92